

自己評価報告書

(評価対象期間：令和5年度)

令和6年6月報告

名古屋ブライダルビューティー専門学校

自己評価報告書
(評価対象期間:令和5年度)

令和5年度の自己点検評価は、以下の通りである。

(1). 教育理念・目標	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
A. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
B. 学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
C. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
D. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
E. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

現状
課題
今後の改善
事項

A. 建学の精神に基づき、学校方針を掲げ、R2に3つのポリシーをより明確に簡潔に改定した。
B. 教育の目玉づくりとして、R3年度よりプロフェッショナルセミナーを本格的に導入し、R5年度も継続した。
C. 募集停止後も変わらぬ教育の提供に全力で取り組んだ。
D. 令和5年度4月15日に募集停止保護者説明会を実施し、令和6年度までの学校方針を説明した。
E. 学校関係者評価委員会で業界ニーズを確認し、学校運営に役立っている。

C. 令和5年度に募集停止。預り金やその他予算額が少ない中でも、最終年度まで変わらぬ教育の提供を実施する。
余分な経費を削減して、予算内で教育の質を下げない工夫が必要

学生便覧(建学の精神・学生心得・3つのポリシー)

(2). 学校運営	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
A. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
B. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
C. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
D. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
E. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
F. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
G. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
H. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

現状
課題
改善
事項

A. 建学の精神、学校方針に沿って学校運営を行っている。
B. 各目標に沿った年度ごとの事業計画がある。
C. 学校として決定せず、各学年の担任や職員で決めて物事を進める傾向がある。令和5年度は教務主任の役職を着け、1,2学年の統括と総合的な判断を担った。
D. 整備している。
E. 整備している。
F. 整備している。
G. ホームページ、ブログ、インスタグラムなどに公表している。シラバスも公開している。自己点検評価及び、学校関係者評価を公開している。
H. 効率化、努力を継続中である。

教育活動や職務関係の実施の有無は会議を通して、学校判断で決定し、記録を残す必要がある。(担任や教職員単独での判断ではない)教員の入れ替わり時に、十分な引き継ぎが出来ておらず、途中で途切れている資料などが目立つ。

閉校に向けて、各々の記録を整理する必要がある。

令和6年度は1学年のみ12名の学生数のため、事務職員2名で保管が必要な資料(期日等含)など令和7年2月末には整備を完了させる。

自己評価報告書
(評価対象期間: 令和5年度)

(3). 教育活動	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
A. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
B. 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
C. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
D. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
E. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1
F. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
G. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
H. 職業教育に対する外部関係者の評価を取り入れているか	4 3 2 1
I. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
J. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
K. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
L. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
M. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
N. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

現状

- A. 建学の精神、学校方針に沿った新カリキュラムを令和3年度より導入し、令和5年度で3年継続。
- B. 教育課程表に展開される科目に明記。
- C. 令和5年度からの新カリキュラム導入の準備をした。
- D. PDCAサイクルが十分にできておらず、工夫・開発に力を入れなければいけない。
- E. 令和5年度からの新カリキュラムのスムーズな導入を工夫し、実施した。
- F. 体系的に位置付けている。
- G. 学内・学園内で実施しており、評価制度もある。
- H. 5日間の新規接客ニューバリュー研修を実施し、接客・身だしなみ等において評価している。
- I. 基準を明確化の上、学生便覧で学生周知している。
- J. 検定担当者を設置しているが、受験率・合格率・指導力の向上は見られない。
- K. 専任・非常勤の新規採用・入れ替えを含め、質の向上に努めており、授業の精度は上がってきているがまだ充分ではない。
- L. 特に非常勤講師の採用において実施中であり、マネジメントの質は向上した。
- M. 先端的な知識は非常勤の指導者に頼っているが、常勤教員による授業見学・授業評価を継続している。令和5年度に常勤教員の資格の積み上げが見られた。
- N. 研修等を行う時間の確保は可能だが、実施に至っていない。

課題

本校が提供している教育は、専任教員を筆頭に、専門分野のプロフェッショナル講師など他校に劣ることはないが、普段の生活態度・授業受講態度など、学生指導が出来ていない。

今後の
善
方
策
特
記
事

学内での、プロフェッショナルスチューデント意識を、教職員から見直す必要がある。

特になし

(4). 学修成果	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
A. 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
B. 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1

自己評価報告書
(評価対象期間: 令和5年度)

C. 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
D. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
E. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

現状
A. ブライダル業界情報が豊富な就職担当を中心に、学校全体で就職活動のサポートを実施している。
B. 資格取得率は担当教員の努力に頼っている。教員の努力もあったようだが、受験率の向上はみられなかった。PDCAサイクルが成立しておらず、合格率の向上は見られない。PDCAサイクルが回るシステム確立が必要。
C. 4年度退学者は6名だったが、令和5年度じゃ3名となった。退学意志の早期発見を目的に定期的に面談やアンケートを実施。遅刻者や欠席者に対しては保護者と密に連絡を取り、学校・家庭の双方から援助している。
D. 有効的な情報収集方法が無く、十分な把握は出来ていない。
E. 卒業生を学校関係者評価委員に入れ意見を教育活動の改善に取り入れた。また、就職ガイダンスに先輩社会人を招き、直接的なアドバイスを受けている。

課題
①希望企業、希望職種での内定
②検定合格率向上
③令和6年度退学者ゼロ

今後の改善方針
一昨年前の検定結果を分析し合格率向上を計る。
12名しかいない在校生とその保護者と密に連絡を取り、退学者を出さない。

特記事項
特になし

(5). 学生支援	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
A. 就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
B. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
C. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
D. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
E. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
F. 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
G. 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
H. 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
I. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
J. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

現状
A. 各業界人による職業講話を令和5年度は3社実施した。
B. 小規模校であり、専任全員が全学生の顔と名前を覚えており、きめ細かな学生相談に応じている。
C. 経済支援奨学金を整備している。
D. 年1回の健康診断を実施している。毎朝HRで学生の顔を見て点呼をして健康状態などを確認している。
E. 学生たちの自主的活動を支援する環境を整備している。外部のイベントなどは学内で精査し、教育上・キャリア教育上必要と認めた場合は授業の一環として参加している。
G. 従来からの保護者会に加え、入学前保護者説明会、新2年生保護者説明会を設け、保護者との連携強化に努めている。
H. 教員と学生との関係は卒業後、グループLINE等で継続されているが個人でのつながりのため、学校としてのシステムとはなっていない。
I. 学校関係者評価委員会などから社会人ニーズを収集し、教育に反映する努力を行っている。
J. 学園姉妹校(高校)の生徒を体験入学に呼び、職業体験の場を提供している。

課題
近年、メンタル不調から退学に至るケースが多いため、メンタルケアの環境を整えたい。

今後の改善方針
令和6年度は在籍者12名、教職員5名体制となるため、状況に応じて担任以外の教職員も密に学生と関わる。

特記事項
特になし

自己評価報告書
(評価対象期間:令和5年度)

(6). 教育環境	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
B. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
C. 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

現状	A:2.3階のスペースを改装し、結婚式のリハーサル・フォトウェディング・テーブルセッティング・ドレスフィッティング・ヘアメイクの授業の内容が充実した。 B:校内施設設備において、対応ができない箇所を、社会研修や模擬挙式・披露宴(3回/年)を学外施設を利用し、補っている。インターンシップを実施した。 C. 消防計画に基づき、消防設備点検の実施(2回/年)、防災訓練(避難訓練、消火訓練、防災器具の取扱)を実施している。また、防災用品についても、①AED ②非常食・水を備えている。防災マニュアルを整備した。
課題	学内資源が古い。(スマホなど電子機器が進化した現在に対応していない) ※学生は一人1台iPad持っている 学内資源が老朽化し、使用できない。(使用できれば授業の幅が広がる)
今後の改善	活用できる学外資源情報の収集と実地確認を随時進めており、社会人講座など産学連携を強化している。 図書の利用率が低いため、雑誌等の充実を図る。 令和6年度閉校になるため、新たに資源を購入できない分、現在ある資源を最大限に活かした授業を実施する。
特記事項	特になし

(7). 学生の受入れ募集	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
B. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
C. 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

現状	A・B: 学校から外部へ発信するものを学生募集活動とした。 C: 令和4年度以降物価が上昇して居るが、令和5年度も追加徴収なしで終えた。
課題	令和6年度は、学生数が半分以下と1学年しか在籍していないため、より一層の節約と商品の見直しが必要
今後の改善	閉校に向けて、過去の資料や学内資源の整理が必要。年間で計画をたてて、スケジュール通りに進めることが大切。
特記事項	特になし

自己評価報告書
(評価対象期間: 令和5年度)

(8). 財務	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
B. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
C. 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
D. 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

現状

A. 収支差額マイナスが継続し、令和7年3月末に廃校が決定した。
B. 予算については、理事会で決定された事業計画大綱及び予算編成方針に基づき、校内において予算申請書を作成し、管理者において精査の上、法人事務局に提出する。その後、法人事務局との折衝の後、予算原案を作成し、3月末に開催される評議員会及び理事会の議を経て決定する。執行については、経理責任者が、学園規程に基づき、予算の範囲内で適切な処理を行う。
C. 公認会計士(実地監査1回、書類監査1回)及び監事により実施している。
D. 法人において「私立学校法」に定められた財務書類を学園規程に基づき、学生、保護者、卒業生、その他利害関係者の請求に応じ、閲覧を供している。また、法人広報誌「Commu」に掲載するとともに、法人のホームページ上でも公開をしている。

課題

学納金内での教育の提供を実施する。
金額の大小にかかわらず、全員が経費節約を念頭に支出を最低限にする努力が必要

今後の改善
方策

学内資源の整理。

特記
事項

特になし

(9). 法令等の遵守	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
B. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
C. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
D. 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

現状

A. 学校教育法、専修学校設置基準等の遵守に関しては、学則を定め、法令に沿った学校運営を行っている。
B. 個人情報の保護に関して、学園で組織する「個人情報保護委員会(組織の長及び事務長を中心)」で適正化を図っている。また、学園規程(個人情報の保護に関する規程、特定個人情報の取扱いに関する規程)、学校規程(個人情報保護に関する規程)を整備し、規程に基づき適正な運用を行っている。
C. D. 令和4年度自己評価報告書を冊子にし、学園本部及び教職員関係者に配付を行った。また、学校関係者評価を含め、本校のホームページにも掲載し、広く公表を行っている。

課題

A. 各法令については、毎年、変更が生じるため、常に見直しを行い、適正な運営をしていく必要がある。
C. 自己評価結果について、改善項目を常に教職員が意識し、業務に取り組めるような方策が必要である。

今後の改善
方策

A. 学内規程及び運用ルールは、常に改善を行う。
B. 個人情報の取り決めだけでなく、教職員のパソコンやWebの操作方法等もルール化する必要がある。
C. 改善計画については、「いつ」、「誰が」、「どうやって」実施していくかを詳細に計画を立て、職員会議等で状況報告をする等していく必要がある。

特記
事項

特になし

自己評価報告書
(評価対象期間: 令和5年度)

(10). 社会貢献・地域貢献	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
A. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
B. 学生の地域ボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1

現状

A-①. 平成27年度私立学校施設整備費補助金エコキャンパス推進事業を活用し、屋上に太陽光パネルを設置することにより、地球温暖化対策に貢献できるよう学校全体で省エネに取り組んでいる。年々、光熱水費の使用量が減少してきている。
A-②. 学校祭では、地域に学校を開放し、お客様として招き、日頃の教育成果をサービスとして提供をしたいが、コロナ禍以来実施出来ていない。

課題

社会・地域貢献及びボランティア活動は、本校から積極的な取り組みや発信ができるようにする必要があるが、コロナ禍で文化祭を体育祭に変更し、また、学生サロンには学生家族だけを招待するように制限した。

今後の改善
善方策
改
特
項
記
事

コロナ収束が見られれば、地域との関りなどについて、新しい方策を実施したい。

特になし